

第2回早稲田大学・同志社大学
共同SDワークショップ発表



ラーニング・コモンズ“SPACe”が 展開する留学生との共助

創価大学 総合学習支援オフィス副部長
池ヶ谷 浩二郎

本報告の目的

本学ラーニング・コモンズで展開しているプログラムを通じて、**留学生との相互共助**の取り組みという視点から整理し、ご紹介する

本学のラーニングコモンズは主体的学びの場

※**主体的学び** ≡ **アクティブ・ラーニング**

一方通行の講義ではなく、学生の能動的な学び、主体的な学びを促す教育方法を指し、本学の場合、協同学習法などが含まれる

SPACeとは・・・

・「学びの場」としてのSPACe

2013年9月12日オープンした中央教育棟2階
「ラーニング・コモンズ」の愛称

※平日9-20時半、土曜日10-18時開館

・「学びを支援する機関」としてのSPACe

総合学習支援センター

Student Performance Acceleration Center

CETL(教育・学習支援センター)から学習支援部門を
独立・拡充し、学士課程教育機構内に設置

「学びの場」としてのSPACEの特徴

- 約2000m²の空間に、協同学習・語学学習・自習・PC・学習相談エリア、日本語・英語ライティング支援・図書館サービスなど多くの機能を凝縮
 - 事務体制である総合学習支援オフィスも同一空間内に配置し、教職員・大学院生・学部学生・留学生スタッフが一体となって支援する体制を構築
 - 中央教育棟全体≡ラーニング・commons
全116教室の半数以上が可動式机・椅子
いたる所に自習・協同学習スペースを設置
- ⇒SPACEは「**学びの心臓部**」: インテンシブに多面的な学生の学びのニーズをサポート

語学学習を支援する組織

World Language Center (通称: WLC)

WLCがSPACeで提供しているプログラム

- ★Writing Center (英語ライティング指導)
- ★iBT Speaking Center (iBTスピーキング練習)
- ★Chit Chat Club (初級英会話)
- ★English Forum (英語ディスカッション)
- ★Global Village (多言語プログラム)
- ★English Consultation Room (英語学習相談室)

WLC長	教員(教務部長兼任)1名
副WLC長	教員(WLC所属)1名
Coordinator	教員(Native teacher)5名
専任職員	3名
Manager	3名(米国で学位取得者)

上記の体制に加えて、

Staff **約100名(留学生、留学帰国者)**

各学期でCoordinatorとManagerで希望者を面談、トレーニングを受け、正式にStaffになる(アルバイト契約)

スタッフトレーニング

各プログラムスタッフを学期3回のトレーニングを重ね、スタッフとしてのスキルアップを図る

【トレーニング内容】

対人トレーニング

コミュニケーショントレーニング

※1回トレーニングは1時間～2時間

【トレーニング】

教員とマネージャー

- ・**ipad活用 (C3、EF、GV)**

 - 予約学生

 - 出欠席学生確認

 - スタッフレポート

 - 勤務記録

- ・**学内ポータルシステム活用**

 - (C3、EF、ECR、WC、SC)

 - 予約はポータル(携帯からもアクセス可能)

 - 当日朝9時までには空席あれば予約可

※Managerは朝9時以降に予約者をデータ移行

職員としての取り組み

SPACeでのWLCプログラム運用に向けた職員としての取り組みと視点

- 予算確保
- 補助金活用
- 人的な資源の活用、組織改編
- 学生の意見を取り込む
- ルールで縛らない？